

アジア・オセアニア高校生フォーラム特集号



7月29日から8月2日にかけて、第3回アジア・オセアニア高校生フォーラムが開催されました。海外や全国から参加した高校生が、世界共通の様々な課題について意見を交わすとともに、様々なプログラムで交流を深めました。

参加者にとっては、研究課題の討論やプレゼンテーションだけでなく、世界遺産ツアーやレセプションなど様々な交流を通じて、たくさんの友人を作りそして、大いに学ぶことができた有意義なフォーラムであったのではないかと思います。事務局として運営に奔走した国際課メンバーにとっても、高校生の頑張りに刺激を受け、やりがいを感じる機会となりました。

グローバル社会の中で活躍できる人材の育成及びアジア・オセアニア地域の相互理解・友好親善を促進するため、今後も継続して本フォーラムを開催したいと考えています。

【参加校】(順不同)

県内高校 13校	橋本高等学校、粉河高等学校、向陽高等学校、桐蔭高等学校、星林高等学校、海南高等学校、耐久高等学校、日高高等学校、新宮高等学校、和歌山信愛高等学校、開智高等学校、智辯学園和歌山高等学校、近畿大学附属和歌山高等学校
県外高校 5校	千葉県立佐原高等学校、渋谷教育学園渋谷高等学校、山梨県立甲府南高等学校、岐阜県立斐太高等学校、鹿児島県立甲南高等学校
海外 20カ国/地域	オーストラリア連邦、ブルネイ・ダルサラーム国、カンボジア王国、中華人民共和国、香港、インド共和国、インドネシア共和国、ラオス人民民主共和国、マレーシア、モンゴル国、ミャンマー連邦共和国、ネパール連邦民主共和国、ニュージーランド、フィリピン共和国、大韓民国、シンガポール共和国、台湾、タイ王国、トルコ共和国、ベトナム社会主義共和国

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆1日目◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

オリエンテーション

海外からの参加者を対象にオリエンテーションが実施されました。20の国と地域の生徒・教員が一堂に会し、実行委員会から、フォーラムの概要説明や、和歌山県の紹介が行われました。

ホームステイ

海外からの参加者は、県内の高校（開智高校、那賀高校、向陽高校、和歌山高校）の生徒の家庭でのホームステイを経験し、日本の文化に触れました。一泊という短い時間でしたが、深い絆が生まれたようでした。

わかやま国際交流通信

◆◆◆◆◆ 2日目 ◆◆◆◆◆

世界遺産研修ツアー

和歌山が世界に誇る高野山への研修ツアーが行われました。地元高野山高校の生徒と県内高校生代表が協力して案内役を務め、壇上伽藍・金剛峯寺・奥の院などの見学や、精進料理を体験。県外や海外からの参加者は、歴史ある高野山の雰囲気にとっても感激していました。



◆◆◆◆◆ 3日目 ◆◆◆◆◆

開会式

制服や民族衣装を着た参加者達が壇上に勢揃いし、開会式が行われました。仁坂知事からは“議論や行動を通じて、お互いの信頼と友情を築き、世界への一步を踏み出してください。”という激励の言葉がありました。また、生徒代表による、“様々な意見や考えに耳を傾け、議論し、それぞれの国・地域や世界に貢献しましょう”という力強い開会宣言がありました。

地域紹介

互いの理解を深めるため、参加国と地域の紹介プレゼンテーションが行われました。伝統文化・観光名所等、それぞれの国や地域の魅力は大変興味深いものでした。

分科会

“防災”、“環境”、“観光・文化”、“国際問題・国際理解・グローバル化”、“人権・教育”のテーマごとに分科会が実施されました。それぞれの研究成果が15分間のプレゼンテーションで発表され、コーディネーターによる進行のもと、オーディエンスからの質疑応答を受けるなど議論が行われました。また、夜には、翌日の全体会に向け、グループ毎に分科会での意見をとりまとめ、全体会での発表に向けての準備を行いました。そこでも活発な意見交換が行われました。



◆◆◆◆◆ 4日目 ◆◆◆◆◆

全体会

テーマごとにプレゼンテーションが行われました。分科会の内容をまとめながら、問題の提起と解決への提案が発表されました。全体会の発表者を県内の高校生が務め、素晴らしいチームワークによって行われたプレゼンテーションは、それぞれが重要なメッセージを伝えるものでした。鋭い質問にもそれぞれの的確に答え、客席からも惜しみない賛辞が送られました。



レセプション

緊張のプレゼンテーションが終了し、参加者はリラックスした雰囲気の中さらなる交流を深めました。ステージでは、日本の空手演武、ニュージーランドのハカ、台湾のオカリナ演奏、モンゴルの民族舞踊のパフォーマンスが披露され、大きな拍手が送られました。また、このフォーラムが素晴らしい経験となったことや、より良い世界のために共に頑張ろうという内容が述べられました。

◆◆◆◆◆ 5日目 ◆◆◆◆◆

交流プログラム

智辯学園和歌山高校で交流プログラムが行われました。ホールでの歓迎セレモニーの際の吹奏楽の演奏に、海外参加者は圧倒されていました。書道や茶道などのクラブ活動体験や、市内視察などを通じ、生徒同士の交流が図られました。



ゲストコラム

◎和歌山県内在住、または当県を訪れた外国人の方に和歌山や出身地についてご紹介いただくコーナーです。今回は、アジア・オセアニア高校生フォーラムの海外参加者の皆さんに、和歌山の印象や出身地の紹介などを語っていただきました。

● タイ 引率教員 Pakapol Piriyabenjawat (パカポル・ピリヤベンジャワット) さんより

出身地の紹介: タイは微笑みの国と呼ばれています。海でとれる魚や、水田で栽培される米をはじめ、様々な食べ物があります。タイの料理の美味しさは、一度食べたら忘れられません。観光スポットもたくさんあり、新しいことを体験したり、ロマンチックなひとときを過ごしたり、タイの文化を楽しんだりすることができます。地域ごとに独自の特徴がありますので、いろんな場所を訪れてその魅力を見つけてください。



和歌山で印象に残ったこと・出身地との違い: 和歌山の人々はとても親切で勤勉で、そのおも

てなしの心にも感銘を受けました。人々に出会うと、心が安らぎ、重荷から解放されたような気持ちになりました。県内の観光地も素晴らしく、その背景にある文化も印象に残りました。**メッセージ:** 皆さんがタイに来る機会があったら、喜んで歓迎します。きっと多くの素晴らしい体験ができると思います。お待ちしております。



ピピ島・マヤ湾

● オーストラリア 生徒 Clare Jarecki (クレア・ジャレッキ) さんより

出身地の紹介: 私はシロングという人口24万人ほどの都市に住んでいます。海が近くにあるので、バルズ・ビーチをはじめとする世界でも有名なビーチで楽しむことができます。なかでも私の一番のお気に入り、家の近くにあるイースタン・ビーチです。シロングはとても雰囲気の良い素晴らしいところです。オーストラリアに来ることがあったら、ぜひシロングにも足を延ばしてみてください。



和歌山で印象に残ったこと・出身地との違い: 和歌山には、豊かな文化と地元の人々の温かい雰囲気があり、素晴らしいところだと思いました。

高野山では、日本の文化を体験し、新しい知識を得ることができ、とてもよかったです。

皆さんとても親切な人ばかりで、和歌山での滞在を楽しむことができました。シロングとの違いとしては、街並みが整然としていて歩きやすく、交通機関も便利でした。

また、今の時期のシロングはとても寒いので、気候も快適でした。

メッセージ: 日本と和歌山を訪問することができたのは、私にとって今までで一番素晴らしい出来事でした。たくさんの人々に出会い、貴重な経験をすることができました。今すぐにでもまた和歌山に行きたいと思っています。参加させていただき、ありがとうございました。



シロングの海沿いの風景

● 香港 引率教員 Shum Yen Wah (シュム・イェン・ワー) さんより

出身地の紹介: 香港は、観光客にとってはショッピングとグルメの天国、ビジネスマンにとってはアジアの金融の中心地として知られていますが、もっと見どころがたくさんあります。かつて英国の植民地だったため、いろんな場面で中国文化と西洋文化の混在が見られます。たとえば、私たちの日常会話では、広東語に英単語が含まれています。また、街中には中国風のキリスト教会や、中華料理、西洋料理の両方を出すレストランがあります。また、香港の40%は緑の自然に覆われています。そこには100以上のハイキングコースがあり、人々が密集する都会を高いところから眺めることができます。こうした





ハイキングコース

コースがあり、人々が密集する都会を高いところから眺めることができます。こうしたコースは街からのアクセスも便利のため、最近では休日にハイキングを楽しむ香港人が増えています。今までの典型的な香港のイメージとは一味違う、新しい香港の魅力を楽しんでみてはいかがでしょうか。

和歌山で印象に残ったこと・出身地との違い：和歌山のゆっくりとした雰囲気と豊かな自然が気に入りました。低層の建物が平地にまばらに建

つ風景は、香港にはありません。また、和歌山の人々が自分たちの文化を守り、大切にしていることも素晴らしいと思いました。伝統行事が厳粛に行われている様子には感銘を受けました。これも香港では見られないことです。また、和歌山県は想像以上に広がったです。関西空港にも近くて便利なので、ぜひまた来たいと思います。
メッセージ：和歌山は日本の観光地としては一番人気の場所ではないかもしれませんが、喧騒から逃れて休日を過ごすには最高の場所だと思います。

● マレーシア 生徒 Aishwaaryaa Murugananthan (アイシュワリア・ムルガナンダン) さんより

出身地の紹介：マレーシアは、ナシレマをはじめとする美味しい料理で知られています。また、マレー系、中国系、インド系など、様々な民族が暮らす多様性に富んだ国です。そのため、ディワリー、ハリラヤ、旧正月など、多彩な行事があります。また、有名なクアラルンプール・シティ・センターには、世界で最も高いツインタワーがそびえ、大きなショッピングセンターがあります。食の宝庫ペナン島を訪れたり、ランカウイ島でゆっくり休暇を過ごすのもいいでしょう。



和歌山で印象に残ったこと・出身地との違い：和歌山にはとても静かで落ち着いた雰囲気があり、特に高野山は忙しい現代生活から離れてリラックスできる素晴らしいところだと思います。私の住むクアラルンプールでは緑より建物のほうが多く見られますが、和歌山では見渡す限り緑が広がり、人々がその自然を大切にしているのが印象的でした。



ナシレマ

メッセージ：マレーシアは、どんな人にも楽しめることがある魅力的な国です。皆さん、ぜひお越し下さい。

国際課活動レポート

◆南加県人会子弟による知事表敬

和歌山県は多くの海外移住者を送り出した移民県であり、世界各地に県内出身者が設立した県人会が存在します。県人会の世代交代が進む中、日本の生活体験を通して自分たちのルーツである日本や和歌山について理解してもらうとともに、相互理解を深めることを目的に実施されている県人会子弟受入事業の一環で、ロサンゼルス南加和歌山県人会から2名の子弟が仁坂知事を表敬訪問しました。

☆次号は11月末発行予定です。お楽しみに♪

★ご意見・ご感想はこちらへお願いします。

【和歌山県国際課】Email : e0223001@pref.wakayama.lg.jp TEL : 073-441-2055

☆わかやま国際交流通信はホームページにも掲載しています。

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/022300/kokusaikouryu/mailmagazine/mailmagazine.html>

HPアクセスはこちら ⇒

